



コレだけであらゆる用途をカバー！

# KS ネオガッツ PAT.

NETIS（国土交通省新技術情報提供システム）登録番号 KK-050125-V



■ 平行



セパは必ずボルト側に取付

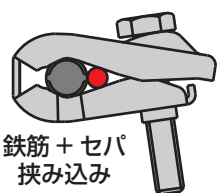
■ 直交



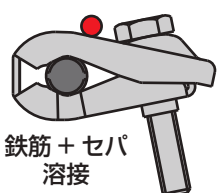
↓ 出来ます！ アレもコレも ↓

平行引き

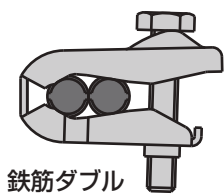
直交引き



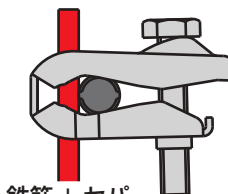
鉄筋 + セパ  
挟み込み



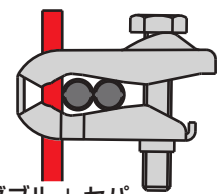
鉄筋 + セパ  
溶接



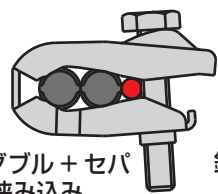
鉄筋ダブル



鉄筋 + セパ  
挟み込み



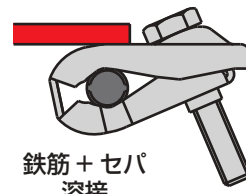
鉄筋ダブル + セパ  
挟み込み



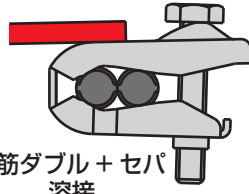
鉄筋ダブル + セパ  
挟み込み



鉄筋ダブル + セパ  
溶接



鉄筋 + セパ  
溶接



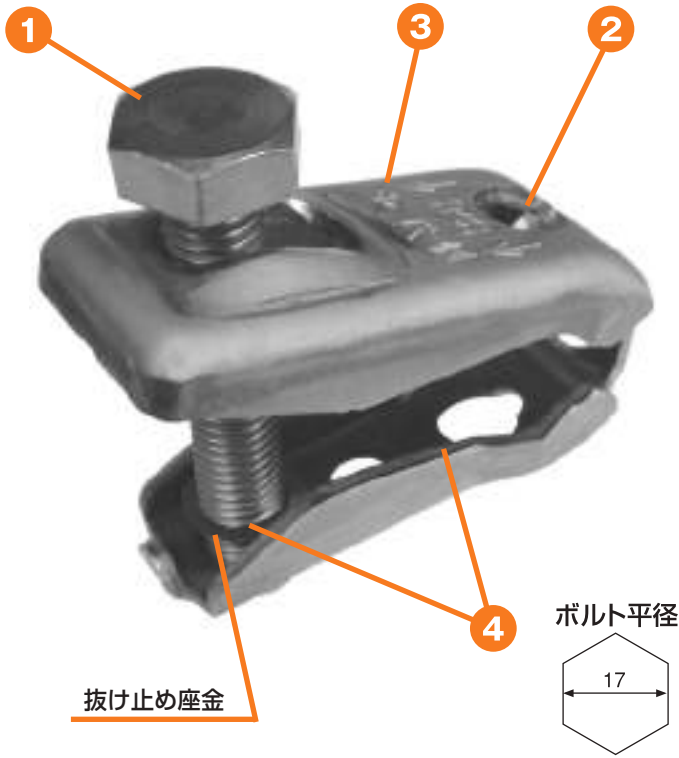
鉄筋ダブル + セパ  
溶接

※適応鉄筋径、組合せは裏面の表をご覧ください。

**KS 株式会社 国元商会**

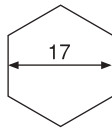
本社  
〒538-0041 大阪市鶴見区今津北 3-4-27  
TEL (06) 6962-8800 FAX (06) 6962-8920  
URL: <http://www.kunimoto-s.co.jp>  
東京支店  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-19-38  
TEL (03) 3252-8001 FAX (03) 3252-8181  
九州営業所  
〒812-0007 福岡市博多区東比恵 3-24-5  
TEL (092) 413-6880 FAX (092) 413-6888

取扱店



抜け止め座金

ボルト平径



### 1 作業性抜群！

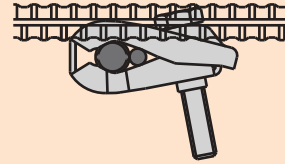
鉄筋、セバを挟んでボルトを締めるだけ。  
特にスラブでの平行引きは、上からの作業が可能。

### 2 マルチな使用方法

金物を使い分ける必要がありません。  
いろいろな使い方が可能です。  
下記対応表をご参照ください。

### 3 かぶりも OK

スラブ鉄筋下段への取付で、かぶりもクリア。※



※鉄筋+セバ挟み込み、平行引きでD13,D16の場合。

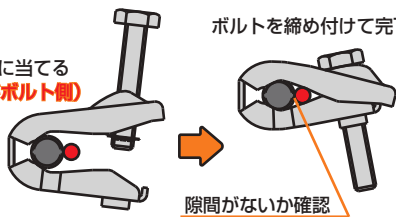
### 4 確実施工！

締めると鉄筋、セバを奥へ押しつける構造の為、  
ガッチリ固定することが可能です。  
また、抜け止め座金を装備。型枠内への部品落下  
を防止します。

## ■ 施工手順 (挟み込み)

### 平行

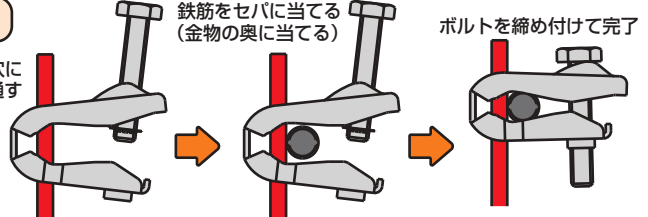
鉄筋とセバを金物の奥に当てる  
(必ず鉄筋が奥、セバがボルト側)



ボルトを締め付けて完了

### 直交

側面の穴に  
セバを通す



ボルトを締め付けて完了

## ■ 挟み込み

適応鉄筋	適応セパレータ		W5/16セパレータ		W3/8セパレータ		D10		D13		D16	
	平行	直交	平行	直交	平行	直交	平行	直交	平行	直交	平行	直交
D10	●	●	●	●	●		●		●			
D13	●	●	●	●	●		●		●			
D16	●	●	●	●	●		●		●			
D10ダブル	●	●	●	●								
D13ダブル	●		●									

## ■ 許容強度

1.0kN(102kgf)

## ■ 強度試験値 (抜粋、平均) ※詳細は別途、強度試験成績書をご参照ください。

	挟み込み(平行) (D10+W5/16セバ)	挟み込み(平行) (D13+W5/16セバ)	挟み込み(直交) (D10+W5/16セバ)	挟み込み(直交) (D13+W5/16セバ)
最大負荷	2.75kN	3.25kN	3.7kN	5.5kN

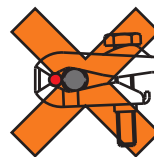
## ■ セパレータ溶接

適応鉄筋	適応セパレータ		W5/16セパレータ		W3/8セパレータ	
	平行	直交	平行	直交	平行	直交
D10	●	●	●	●		
D13	●	●	●	●		
D16	●	●	●	●		
D10ダブル	●	●	●	●		
D13ダブル	●	●	●	●		

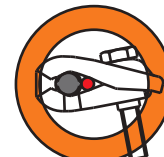
商品名	KS ネオガッツ
品番	0334018
入数	100個
梱包質量	12.0kg

## ⚠ 注意事項

- ボルトの締め付けは25N・mでしっかり行ってください。
- 平行引きで挟み込む場合、必ず鉄筋を奥に、セパレータをボルト側に取り付けてください。
- 鉄筋と鉄筋を平行で挟み込む場合、必ず小径の鉄筋をボルト側に取り付けてください。
- 締め付け後、緩みや鉄筋とセパレータの間に隙間がないかどうか確認してください。
- 鉄筋とセパレータを金物の奥へ押しこんだ状態で締め付けてください。
- 鉄筋、セパレータと金物が斜めにならない様に、締め付けてください。
- ボルトの締めすぎに注意してください。ネジが破損する恐れがあります。(特にインパクトレンチ使用時は注意してください。)
- 金物に先行溶接する場合、ボルトの頭に干渉しない様注意して下さい。(締め付けるとボルトの頭が移動します。)
- 強度には十分注意して使用してください。



鉄筋を奥に、セパレータはボルト側



斜めにならない様締め付け

●製品の改良、品質向上などのため、製品の仕様、寸法など予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。